

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいうえおん みらい			
○保護者評価実施期間	2025年1月17日		～	2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	2025年1月17日		～	2025年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月3日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応による相談とサポート：保護者が安心して子どもを預けられるよう、幼稚園・保育所での悩みや育児・進路に関する相談を実施しています。	保護者とお子さま双方にとって安心して信頼できる環境を提供するために保護者が気軽に相談できるよう24時間LINE相談受付を準備し個別相談の受付の環境を整えています。	1. 相談窓口の拡充・柔軟な対応 忙しい保護者向けに、Zoomを活用したオンライン相談を定期的を実施する。 2. 保護者向けセミナー・勉強会の開催 発達支援の専門家による講座：臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士などの専門家を招き、育児・発達に関する知識を深める機会を提供。
2	多様な療育プログラムの提供：生活動作の学習、学習支援、脳トレ運動プログラム、音楽活動、お出かけ体験など、子どもの興味や発達段階に合わせたプログラムを実施しています。	遊びを通じた療育活動：子どもたちが楽しみながら学べるよう、遊びを取り入れた療育活動や創作活動を実施しています。これにより、自然な形で生活動作や学習支援、脳トレ運動などのスキルを身につけることができる支援を行っております。	1. 選択制プログラムの導入：子ども自身が興味のある活動を選べる仕組みを導入し、モチベーションを高める 2. 音楽療法の専門家との連携：リトミックや楽器演奏のプログラムを強化し、リズム感や表現力を伸ばす。 3. アートセラピーの導入：絵画や粘土遊びを通して、感情表現や創造性を育む。
3	活動スペースの拡充：広いスペースで、子どもたちがのびのびと活動できる環境が提供できている。	広いスペースを活用し、子どもたちが自由に体を動かせる遊びや創作活動を取り入れています。これにより、子どもたちの能力を高め、のびのびとした成長を促進しています。	イベント・交流スペースの設置：保護者向けセミナーや子どもたちの発表会を行うスペースを確保し、地域とのつながりを強化。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの専門性の向上 課題：療育の質を高めるためには、スタッフの専門知識や技術の向上が重要。特に発達障害や感覚統合に関する最新の知識を取り入れる必要がある。	定期的な研修・勉強会の実施、外部の専門家との連携強化。	研修等の時間の確保やスタッフの経験差の配慮等、スタッフの働く環境の配慮が必要。
2	地域への認知度が低い 課題：地域住民や他の支援施設に対して、事業所の活動や役割が十分に知られていない可能性がある。	地域のイベントや集会に参加する機会が少ない場合、事業所の存在や役割が地域住民に認知されにくくなる。	改善策： 地域の祭りや社会活動に積極的に参加。 地域イベントや講演会の開催。 SNSやホームページを活用した情報発信の強化。 地域の保護者向けに無料相談会を実施し、施設の存在を知ってもらう機会を増やす。
3	受け入れ体制の強化 課題：支援を必要とする子どもが増える中、予約の取りづらさや支援の手厚さのバランスが課題になることがある。	定期的に通うことを目標とし、療育の成果を上げているが、利用者の利用の時間帯、曜日にうまく対応できず利用を断念する方もいる。	利用者の利用回数のバランスを配慮したり、保護者のニーズに適用できる療育時間の設定に工夫が必要である。